

市内で働く「UI ターン者」との“本気”で語ろう会 会議録

団体名	市内で働く「UI ターン者」
日 時	令和4年4月27日（水）18時30分から20時00分まで
場 所	7階大会議室
参加者	市内で働く UI ターン者：8名
	市長、市長公室長、産業振興課長、人口減少対策本部職員

意見交換

- ・ UI ターンした理由及びきっかけ
- ・ 地域との関わりについて
- ・ 同級生や知人の動向について
- ・ UI ターンにあたってのサポートや制度利用について
- ・ 鹿屋市の良さ・課題・今後の改善ポイント

【参加者の意見等】

○UI ターンした理由及びきっかけ

- ・ 広島で就職していたが、配偶者（夫）の地元での就農をきっかけに I ターンした。転勤も多く多忙な中、自分の生活を充実させたいと思い、再就職を決める前に転入した。
- ・ 長男であり、親を見るため、U ターンした。子供が3人おり、夜勤のある仕事であったため、自然環境豊かな地で子育てを希望し、U ターンした。
- ・ 会社の転勤で鹿屋に居住。海外や東京勤務が長く、のんびりした所で過ごしたいと思い、鹿屋市を異動先として選択した。
- ・ 京都出身であるが、両親の実家に近い場所に住みたいと I ターンした。
- ・ 子供の療育環境が整っていたため、鹿屋市へ I ターンした。
- ・ 母親の転勤に伴い、福島県から I ターンした。
- ・ 自然豊かな場所で子育てをしたいと思い、北海道出身の妻と共に U ターンした。

○地域との関わりについて

- ・ 仕事と家の往復のみで関わりは少ない。
- ・ 町内会があるかすら知らず、機会があれば加入したい。
- ・ 会社において、協働で地域活動を行う取組を予定している。今後地域の方々と共に活動したい。（浜田海岸の清掃等）
- ・ 町内会に入り、家族ぐるみで地域の方に助けてもらっている。
- ・ 今は町内会に未加入だが、人間関係が煩わしく、ゴミ出しもアパートのごみステーションがあり、困らないため、子供ができれば加入を考えたい。

○同級生や知人の動向について

- ・ 高卒で市外に出る人の多くは、やりたいことがあって出るわけではない。
- ・ 一度市外に出た友人でも、地元に戻りたいと思っている方が多いが、地元の企

業情報が少なく、帰るきっかけがなかったり、起業しようと思っている知人も多いが、後押しや情報が少なく、帰りづらいという声を耳にする。

### ○UI ターンにあたってのサポートや制度利用について

- ・宮崎県は、引っ越し費用補助（半額）、転居先の家賃補助（1年半額）があった。
- ・転職活動時に、首都圏で県（宮崎）主催の企業説明会があり、UI ターン時の補助制度の説明等、サポートがあった。鹿屋市も対外的に説明会等発信してほしい。
- ・給料が下がっても物価が低いから大丈夫というが、車が必需品であり、維持費がかかるので、生活は大変になったと感じる。また、カーシェア制度などの補助が欲しい。
- ・鹿屋の企業（就職）情報や、転職・起業する際のサポート制度などがあれば、周知してほしい。
- ・SNS 等の活用による鹿屋の発信等力を入れてみてはどうか。

### ○鹿屋市の良さ・課題・今後の改善ポイント

- ・企業のアピールをもっとしてほしい。  
1 度市外に出て、帰りたと思ったときに、転職先の情報が少ないと感じる。
- ・鹿屋市自体をもっと PR してほしい。  
食の美味しさや、海の美しさ、ロケ地として観光アピールする等
- ・鹿屋市を全国の人に知ってもらうことが大切。（鹿屋ならではのものを PR）
- ・子供たちが遊べる場所が少ない。  
公園は 2 時間くらいで飽きる。雨の日でも休日に 1 日中遊べる場所が欲しい。
- ・人口減少について、子育て世代・高齢者だけでなく、まちにお金を落とす若者や単身世帯等も含め、全世代バランスよく呼び込むべき。
- ・パチンコ屋が多い。パチンコ以外で若者が楽しめる場所がほしい。
- ・住宅補助や雇用の受け皿が必要。
- ・土木・農業・介護・保育など、鹿屋市は職業の偏りが多い。工業系が少ない。
- ・鹿屋市にしかない設備があるような企業があれば、人が集まるのではないか。
- ・1 拠点で全国を繋ぐような企業を誘致してもいい。
- ・学生時代に、様々な業種の鹿屋市内企業の情報を知っておきたかった。  
工業高校は、工業系の企業しか知らない。  
市外に出るまでに、鹿屋市内にどんな企業があるか知っておけば、U ターン時の選択肢の幅が広がると思う。（市外に出ると鹿屋市の企業情報は乏しい。）

### 【市長】

- ・人口を増やすあるいは減らすのを先送りするような対策を練るために、人口減少対策本部を立ち上げた。アンケートの実施や市民の声を聴くなど、対策を講じていきたい。

- ・人口減少の先送りを検討するとともに、人口が減ってもしっかりと暮らしができるようにしたい。集落の維持機能として、交通、買い物、病院の問題等小さな集落でも、集落機能を維持していきたい。
- ・首都圏より生活費が抑えられるとPRしていた時期もあったが、本日の意見を聞き、実態は違う部分があることが分かった。
- ・イオンなどの大型ショッピングセンターの建設を望む声は多いが、他の商圈との重なっており、難しい現状がある。